

ポスター番号 (★：学生)	発表タイトル	発表者	所属
P-01	Light absorption properties of brown carbon aerosols at Fukue Island based on filter observation and ground remote sensing	朱 春茂	海洋研究開発機構
P-02	福江島における微小エアロゾル元素組成・ブラックカーボンの高時間分解観測：モデルによる人為起源鉄排出量の過小評価に関する知見	宮川 拓真	海洋研究開発機構
P-03	人為起源排出インベントリの違いが北極ブラックカーボンのシミュレーションに及ぼす影響	池田 恒平	国立環境研究所
P-04	クリーギー中間体の反応メカニズムの導入による化学輸送モデルの硫酸塩の再現性の精緻化	板橋 秀一	電力中央研究所
P-05	IMPACTモデルでの粗大ダストエアロゾル放射効果	伊藤 彰記	海洋研究開発機構
P-06	長石の鉱物学的特性と氷晶核能との関連性	松木 篤	金沢大学 環日本海域環境研究センター
★P-07	2018-2020年に東京スカイツリーで観測した雲凝結核特性に関する研究	横山 晶美	東京理科大学 理学研究科
★P-08	東広島で観測された大気エアロゾルの雲凝結核特性	海塚 収英	広島大学総合科学部
P-09	北極域で取得されたエアロゾルサンプルの水抽出物の吸湿性・CCN活性および表面張力測定：冬季～夏季の比較	川名 華織	海洋研究開発機構
P-10	東南極における大気硫酸の硫黄安定同位体組成の均一性と氷期-間氷期の硫黄起源のシフトに対する示唆	石野 咲子	国立極地研究所
★P-11	Direct measurement of aerosol acidity using pH test paper	宋 秦平	名古屋大学大学院環境学研究科
★P-12	二酸化窒素と凍結したヨウ化カリウム水溶液によるヨウ素生成反応	上田 哲也	九州大学大学院総合理工学府
P-13	低NOx条件での二次有機エアロゾルの不均一酸化過程	佐藤 圭	国立環境研究所
P-14	Visualization of air cleanliness using Clean air Index (CAI)	佐藤 知紘	情報通信研究機構
P-15	TROPOMI NO ₂ 衛星観測データ同化を用いた 全球NOx排出量の推定	関谷 高志	海洋研究開発機構
P-16	NH ₃ 双方向フラックスを考慮した東アジア域の 大気質シミュレーション	桐山 悠祐	アジア大気汚染研究センター

P-17	一次元光化学モデルを用いた二酸化炭素の動態解析	亀崎 和輝	上智大学 理工学研究科
★P-18	MOPITTセンサーとNICAM-TMモデルのCO濃度の比較解析	宮島 宏	千葉大学
P-19	スーパーコンピュータ「富岳」を用いた大アンサンブル・高解像度大気環境シミュレーション研究	八代 尚	国立環境研究所
P-20	超小型衛星搭載テラヘルツセンシングシステムの火星大気観測感度検討	山田 崇貴	情報通信研究機構
P-21	つくばFTIRで観測されたオゾン高度分布の検証	村田 功	東北大学大学院環境科学研究科
★P-22	自動車排気ガス中に含まれる亜硝酸濃度の測定(2)	須藤 潤	東京農工大学大学院農学府
★P-23	郊外とトンネル内における大気中揮発性有機化合物の比較	辰巳 紘奨	東京都立大学
★P-24	能登半島珠洲でのVOC長期測定	矢田 茂久	東京都立大学
P-25	オゾン反応性計測に基づく植物由来揮発性有機化合物の放出把握に関する在宅研究	松本 淳	早稲田大学人間科学学術院
★P-26	東京都江東区での大気中水素濃度変動要因の検討	橋間 美弥	東京都立大学
P-27	日本周辺における大気中ラドン濃度の短周期変動	石島 健太郎	気象研究所
★P-28	富士山頂での火山性ガス越冬モニタリングシステムの構築	高橋 智樹	東京都立大学
P-29	飛騨高山冷温帯落葉広葉樹林サイトにおける大気中メタン濃度の連続観測	村山 昌平	産業技術総合研究所
P-30	東京スカイツリーにおける酸素観測に基づく化石燃料起源CO ₂ の推定法の検討	遠嶋 康徳	国立環境研究所
P-31	陸・海CO ₂ フラックスの長期変動推定に向けた逆解析実験	丹羽 洋介	国立環境研究所
P-32	中部山岳域におけるカラマツ人工林の炭素収支の気候変動応答と森林管理の効果に関するモデル解析	栗林 正俊	長野県環境保全研究所